

令和7年1月29日

No. 12



発行責任者

校長 有崎 美紀

自ら伸びる



府中央小学校ホームページ <http://chuosho.fuchu-town.ed.jp>

協働する楽しさを

1月12日（日）本校のグラウンドでとんど祭りがありました。このとんど祭りは、本校コミュニティ・スクールが核となり、校区の町内会やPTA、CSサポーターの皆さんと協働して開催しました。当日の様子を 個人情報のため掲載しません。 は次のように作文に綴っています。

ぼくは、とんど祭りに行きました。ココアとぜんざいを無料でもらいました。とんど祭りに行ったことがなかったのでびっくりしました。つんであるわらは、どこから来ているのかと気になりました。

炎がもえさかっています。竹の折れる音は、とてもはくりよくがありました。炎はどんどん強くなっていき、一枚習字が飛んでいきました。その習字には「新しい風」とありました。そうしている間に、炎の中の竹がボキボキ折れて、じゅう声が鳴りひびいているようでした。少しずつ炎は消えていったと思ったそのしゅんかん、オレンジの服を来た人が灰をほりおこしました。すると、炎はもっともえて、また火が強くなりました。こうやって火を強くしているんだとわかりました。

来年もぜったいとんど祭りに参加しようと思いました。来年が待ちどおしくて、むねをわくわくさせながら家に帰りました。

いかがでしょうか。 個人情報のため掲載しません。 が、目や耳や心を働かせて、小さなことも見逃さず、驚いたり喜んだりしている様子が伝わってきます。このような「生きた言葉」は生き生きとした体験の中から生まれます。

教育の営みを植物の育ちに例えると、育つのは植物自身ですが、成長には豊かな土壌が必要です。子供が育つための主とした土壌は子供を取り巻く人的環境。このとんど祭りも、子供の育つ良い土壌をつくりたいとの思いから、立場や考え方の違う地域の大人が集い、立場や考え方を超えて、子供たちのために力を合わせてくださいました。本校の卒業生でボランティアとして運営に携わってくれた中学生は「地域イベントって大人がするものだと思っていたけど、自分たちもやらせてもらえて楽しい！」とのこと。子供たちが、学校内外で多くの大人と接する機会を増やすことは、ぬくもりのある土壌をつくることにつながるのだと子供たちから教えてもらった気がします。

祝 令和6年度広島県教育奨励賞受賞

本校の取組が広島県教育の振興・発展に寄与したと認められ、令和6年度広島県教育奨励賞を受賞しました。学校経営理念「学校は子どもが育つ土壌である」のもと、校長を中心にコミュニティ・スクールを核とした地域とともにある学校づくりを推進しており、地域の人的・物的資源を活用したり地域行事との連携を図ったりしながら、目指すところを社会と共有・連携しながら実現していること、外部の力を積極的に活用することで、教職員が子供と向き合う時間を創出し、その時間を授業改善に活用することで、教員の授業力向上を図っていることが認められました。今後も、地域とともにある学校づくりを行ってまいります。

☆☆☆おめでとうございます☆☆☆

☆令和6年度府中町明るい選挙啓発ポスターコンクール

入選
佳作

個人情報のため掲載しません。



豊かな言葉のつかい手～第11回鈴木三重吉賞～

広島市出身の児童文学作家鈴木三重吉にちなみ、中国地方の小中学生を対象に作文と詩を募り、応募総数5647点（作文3419点・詩2228点）のうち、本校から2年生の島田奈朋さんの作文が佳作となりました。家族・学校・地域等に支えられ、日々の生活を送る中で、自分の感じたことを生き生きと素直に表現している作品です。

ありがとうの夏まつり

個人情報のため掲載しません。

わたしは、夏休みに町内会のおまつりに行きました。ばしょは、きりん公園の近くにある「もかげきた会かん」です。

おまつりに行くと、ラジオ体そこの時の人や、まい日しんごうのところであんぜんを見まもってくれる人、たまに学校のようすを見に来る人、ゆうびんきよくの人、そしてお父さんたちがお店をやっていました。かきこおり、スーパーボール、ヨーヨーつりなどいろいろなお店を出していました。みんなきよくりのTシャツをきていました。

お父さんは、わたがしをやっていました。お父さんは、わりばしをもって、わたがしを作っていました。お父さんは、はじめてわたがしを作るので、さいしょはちっちゃくて、細長いわたがしになっていました。それでいっしょうけんめい作っていました。さい後らへんでは、ぼわんと大きなわたがしが作れるようになっていました。お父さんの作ったわたがしは、めっちゃふわふわわして、あまくておいしかったです。わたがしのきかいがすごくあつそうだなと思っただけで、お父さんは、「みんなが楽しめたらいいな。」という気もちでやっていました。

やきとりやさんは、ゆうびんきよくの人でした。やきとりをやく時、火があみからすこく出て

いて、やけどしそうなのにかんばってやっています。すこくむずかしいことをやっているなあと思いました。

スーパーボールやヨーヨーつりのお店では、水の中にスーパーボールやヨーヨーがたくさんうかんでいました。お店の人は、しなものをどんどん水の中へ入れていました。

わたしは、ほとんどのお店をまわりました。やきとりやオニオンリングがおいしかったです。

この夏まつりには、ありがとうの気もちがたくさんありました。みんながさぼらずに、休まずにお店をやったり、お手つだいをしたりしていました。お店屋さんをしているのは、みんな町内会の人や、ゆうびんきよくの人、見まもってくれている人たちです。そして、だれもが、みんなのためにはたらいています。もしも、しごとをさぼったら、みんなが楽しめないから、どの人もいっしょうけんめいはたらいて、みんなが楽しめるようにしていたので、すこいな、ありがとうって思いました。みんなのためにがんばっている人たちがすこいなと思います。

わたしは、夏まつりに行って楽しかったです。来年も行きたいです。そして、わたしも、みんなが楽しめるようにとがんばってはたらく人になりたいです。



寒さに負けず、縄跳び頑張っています！

縄跳びを通して体力の向上を図るために、12月から体育の授業や休憩時間に縄跳びを頑張っています。子供達は、縄跳びのいろいろな技の合格を目指し、各自が縄跳びのカードを持って、体育委員や縄跳び認定サポーターさんの前で縄跳びをしています。今年度は、お父さんのサポーターさんも加わってくださり、子供達を応援してくれています。合格すると「やったあ。次も頑張るぞ！」と歓声が聞こえます。技の習得を目指し、友達同士でコツを教え合ったり、一緒に練習したりする姿も見られます。



ベルマーク贈呈式 ～塵も積もれば山となる～

(株)キリンビバレッジ様より、ベルマークを122183.16点分寄付していただきました。細かい作業ですが、ベルマーク委員会の児童やベルママさん達が、休憩時間等を活用しながら仕分け・集計を行いました。集まった点数で教育活動に必要な物を購入することができます。身近なものにたくさんベルマークがついています。引き続き、ベルマーク収集へのご協力をお願いします。



令和6年度第2回保護者アンケート結果

保護者の皆様にはアンケート（12月実施）へのご協力ありがとうございました。結果は次の通りです。

今回のアンケートでも、「言葉を大切にしたい学びの展開」「成長の喜びが実感できる行事の創造」「協力し合いながら学校生活を送る」及び「府中中央小の教育への満足度」については、90%以上の肯定的評価をいただいています。学校への信頼をいただけていること、本校が重点を置いている教育活動にご理解いただけていることを心強く思います。

しかし、児童の「自己認識」に関わる項目についての肯定的評価は約77%、「コミュニティ・スクールの一員としてできること」については67%、「学校行事や地域行事を通じた関わり合いや学び合い」については、約76%となっています。今後も学校での教育活動やコミュニティ・スクール活動を通して、子供達一人一人が自分の「よさ」も「弱さ」も認めながら、子供達一人一人の「よさ」や「伸び」を丁寧に見取っていきます。子供達の成長を願って教職員が保護者の皆様、地域の方々と一体となり、本校の教育活動の充実を図ることができるよう、より一層取組の改善を進めてまいります。保護者の皆様には、引き続きご支援・ご協力をいただきますようお願いいたします。

令和6年度 第2回保護者アンケート結果 (回答 524名)

